

新型コロナウイルスが猛威をふるい、私たちの日常生活を大きく変えてしまいました。学校が休校となり、職場はテレワークを推奨され、不要不急の外出は自粛するよう行政から要請されています。

ナビゲーター

すべての行事、イベント、集会、催し物が中止になり、多くの方が経済的打撃と心理的失望感を感じておられます。そんな今、家の中で我々ができることは「充電」ではないでしょうか。普段できなかった読書や新聞など書物に親しむの

◆ 1 ◆

働く人と組織

働きやすさの獲得と働きがいの創出

は、長く家に居るときの一つの過ごし方だと思えます。

さて、私が所属します「一般社団法人日本産業カウンセラー協会」は、3つの使命をもつて活動している団体です。一つ目は「産業カウンセラー」の資格をとるための研修と資格付与、二つ目は「国家資格キャリアコンサルタント」の講習です。前者については当新聞のコラム欄「ナビゲーター」に、「メンタル不調にならないために」というタイトルで23回（2018年7月～2019年2月）、後者については「人生100年時代に向けたキャリア開発 その

「働く人と組織」連載にあたって

「職場の人間関係・環境改善」で働きがいを

考え方と方法」というタイトルで25回（2019年7月～2020年1月）連載させていただきました。その後、「琴線に触れた言葉―産業カウンセラーの本棚から―」と題して、各界の著名人の「琴線に触れる」語録を、産業カウンセラーの立場から述べさせていただきました。

日本産業カウンセラー協会の三つ目の使命は、「職場における人間関係・職場環境の改善」です。そこで、メンタル、キャリアに次ぐ第3陣として、「働く人と組織」と題して、当協会中部支部各県（愛知・岐阜・三重・静岡・福井・石川・富山）の会員である産業カウンセラーやキャリアコンサルタントが、自己の経験も交えて「働く人と組織」についての知見と経験を紹介します。皆様の職場を想像しながらお読みいただくと、うなずける点やヒントになる力があると思います。今回の連載では、前回・前々回の連載との関連では、メンタルヘルスを「働きやすさの獲得」、キャリア開発を「働きがいの創出」と捉え整理したうえで、大きなテーマとして「個人のモチベーションの向上」、「組織開発・組織風土の改善」をとりあげました。最近話題になっているパワーハラスメントやボジティブ心理学、組織開発、「1 on 1ミーティング」、「ワークライフ・バランス、危機管理なども、織り込みたい

と思っています。そして最後に、当協会中部支部の会員が、日々の活動を通じて感じていることや現場で起こっている「生の声」をお伝えします。

テーマが広いので従来の半年間の連載よりは掲載期間が長くなると思います。この連載が終了する頃には、新型コロナウイルスの感染が収束して皆さんが笑顔でおられることを願っています。

【日本産業カウンセラー協会中部支部会員 産業カウンセラー キャリアコンサルタント 社会保険労務士 杉本 和夫】

（火曜日に掲載）

